

平成28年度 揖斐川町障害者小規模授産所 事業報告

(1) 平成28年度 基本方針等について

本施設は、揖斐川町の歴史と自然が豊かな地域で、地域社会と協力して、明るく楽しい雰囲気での共同生活の中で自立と社会参加に向けての支援をすることを目標とし、利用者個々の有する能力を把握して、その個性と人権を尊重しながら利用者一人ひとりが、豊かに社会生活を送れるよう支援することを基本理念としています。

施設運営では利用者の定員数が満たせるよう、地域の方に施設の活動内容を広く周知し、多くの方に通所サービスを利用してもらえるように努めてきました。

障害者総合支援法（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律）に基づき、事業運営については揖斐川町（指定管理制度受託）と協議を行い、施設の向上と安定を図ってきた。また、前年度に引き続き指定生活介護事業、指定就労継続支援B型事業を行ないました。

法人内各事業所とも連携を図り、事業運営、生産活動、生活支援についても必要に応じて相互的な協力を求めました。

(2) 施設種別等について（平成29年3月31日現在）

施設種別	生活介護	就労継続支援B型
名称及び所在地	揖斐川町障害者小規模授産所 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪1347-1	
事業開始年月日	平成2年10月1日	
利用定員及び現員	定員20名（通所）	現員18名（通所）

(3) サービス提供日及び提供時間

サービス提供日 月曜日～土曜日（土曜日は第2・4のみ）

サービス提供時間 8：30～15：45（土曜日は12：30まで）

ただし、国民の休日、夏期休暇（8月12日から16日）、年末年始（12月30日から1月4日）は休業日としております。

通所方法は、自主通所を基本とし、困難な場合は送迎を行ないました。

(4) 処遇方針

利用者支援（就労継続支援B型、生活介護）

利用者の成育歴、性格及び能力を正しく把握し、個別支援計画をもとに、より個人の具体的なニーズを実現していけるような施設サービスを提供してまいりました。また、利用者家族との連携を深め、利用者及び家族のニーズを受けとめながらよりよい協力関係を築き利用者サービスに反映させるようにしてまいりました。

ア. 指定就労継続支援B型

(ア) 自立に向けた就労の場の提供、日常生活動作、習慣の支援

(イ) 就労に向けた支援（生産活動、障害者就職合同面接会、企業見学等）

(ウ) 自立に向けた社会性を身に付けるための支援

(エ) 個別ニーズによる余暇支援（趣味、娯楽の提供）

(オ) 家族との連絡（連絡帳を使用）、家族会の開催（年4回）、個別懇談（年2回）

(オ) 相談、苦情解決業務（別に定める苦情解決規程による）

イ. 指定生活介護

(ア) 自立生活に向けた生活の場の提供、日常生活動作、習慣の支援

(イ) 生産活動の提供

(ウ) 安定した生活を送るための介護、社会性を身に付けるための支援

(エ) 個別ニーズによる余暇支援（趣味、娯楽の提供）

(オ) 家族との連絡（連絡帳を使用）、家族会の開催（年4回）、個別懇談（年2回）

(カ) 相談、苦情解決業務（別に定める苦情解決規程による）

(キ) 個別ニーズに応じた介護の提供、健康チェックの実施

(5) 入所許可、保守管理、個人情報保護等について

別に作成する各種規程（運営管理規程、個人情報保護規程等）に基づき行いました。

(6) 危機対応・事故防止等

別途作成する「危機対応マニュアル」に基づいて行動しました。

また、避難誘導訓練等を行い、利用者が安全迅速に行動できるよう訓練しました。

(7) 職員研修

多様化する支援サービス内容・福祉に関する知識を深め、職員の資質向上を図るため、積極的に実施、参加してまいりました。

(8) 障害者福祉の啓発

奉仕活動や地域のイベントに積極的に参加し、障害者福祉への理解を図るとともに、施設の活動内容を周知するための広報誌を作成して地域に配布しました。

(9) 地域交流・ボランティアの活用

地域のマンパワーの協力の下に、ボランティアを幅広く求めて、より一層の地域交流ができるようにしてまいりました。また、現場研修や障害者への理解の場として施設を開放し、地域との交流の中で障がい者福祉への理解を深めるよう活動してまいりました。

(10) 生産活動について

基本方針

当該地域の特性や製品の需給状況を考慮しながら、地域の資源を最大限に活用し、独自性、商品価値の高い作業種目を行ってまいりました。

内容については、利用者個々の能力を引き出し、作業する中で生きる喜びを感じるとともに、多くの生産活動収入を目指して従来の事業内容を見直し、事業の開拓を進めてまいりました。

ア. 自主製品製作

(ア) 粉石けん・ゼリー石けん・固形石けんの製造、販売

(イ) エコたわし、縫製品の製造、販売

(ウ) 商品の開発、販売店舗など販路拡大に努めました。

イ. バイオディーゼル製造

(ア) 石けん製造と廃食用油の再生事業を実施しました。

(イ) 原料油の安定確保を行い、生産ベースを確立しました。

(製品は前年度に引き続き、社会福祉法人ディーゼル車へ活用しました。当施設、ハートヴィレッチ谷汲の杜、ハートピア谷汲の杜、中濃保育園)

ウ. 委託製品作業

(ア) 製品のバリ取り

(イ) 牛乳パックの選別箱詰め

(ウ) ダンボール箱折り

(エ) トレイ箱折り

(委託作業から自主製品製作に重点を移行できるように努めました。)

エ. ダンボール回収 法人内施設及び近隣施設等

オ. バザーへの参加

(ア) 地域のバザーなどに参加しました。

(イ) 年間5回以上を目標として、18回参加しました。

(ウ) 社会福祉法人内各施設に協力を得て、販路の拡大を進めました。

カ. 工賃の向上

生産活動の合理化、目標工賃を定め、利用者に働く権利と喜びを感じてもらえるようにしてきました。

(11) 主な年間行事

ア. 地域への奉仕活動	地域の清掃等の活動に参加しました。
イ. 利用者自治活動	自治会費等の徴収、誕生会や旅行等の行事の話し合いを行いました。
ウ. クラブ的活動	利用者の希望に応じて音楽活動(週1回)、生花(月1回)、リズム体操(月1回)行いました。
エ. 総合活動	利用者の希望に応じて買い物、映画、ボウリング、カラオケ、調理、清掃など趣味の幅を広げる活動をしました。(月1~2回)
オ. 季節行事	一泊旅行(日帰り旅行)、新年会を実施しました。
カ. 健康診断	年2回実施(9月・2月)しました。
キ. 職員行事	職員会議(月1回)、ケース検討会議(随時)、苦情解決検討会(随時)、生産活動内容検討会(随時)を行いました。
ク. その他	従来から実施している行事等については、利用者及び関係者と話し合いました。

(12) 利用者の入所状況

年度	月	利用者数 (右の内訳)			新規入所者					退所者						
		当 月 末 日 入 所 者 数	県 内	県 外	入 院 (再 掲)	在 宅 か ら	病 院 か ら	他 施 設 か ら 転 入 等	計	社 会 復 帰	家 庭 復 帰	医 療 機 関 入 院	他 施 設 へ 転 出	死 亡	そ の 他	計
平成 28 年度	4	17	17		2			2								0
	5	17	17					0								0
	6	17	17					0								0
	7	18	18			1		1								0
	8	18	18					0								0
	9	18	18					0								0
	10	18	18					0								0
	11	18	18					0								0
	12	18	18					0								0
	1	18	18					0								0
	2	18	18					0								0
	3	18	18					0								0
	計		213	213	0	0	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0

1) 年齢別・性別の状況

2) 地域別入所状況

年齢 性別	年齢									計	平均 年齢	地域別		
	20歳 未満	20～ 24	25～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 64	65歳 以上	市町村名			男	女	計
男	1	0	3	2	3	0	0	1	10	37.2	揖斐川町	10	8	18
											大野町	0	0	0
											池田町	0	0	0
											その他	0	0	0
女	0	1	1	0	3	1	1	1	8	45.3	合計	10	8	18
計	1	1	4	2	6	1	1	2	18	42.3				

3) 入所期間の状況

年数 性別	入所期間						計
	1年未満	1年以上 ～ 3年未満	3年以上 ～ 5年未満	5年以上 ～ 10年未満	10年以上 ～ 15年未満	15年以上	
男	2	1	1	3	0	3	10
女	1	1	0	4	0	2	8
計	3	2	1	7	0	5	18

(13) 職員の会議等の状況

職員会議等の実施状況

会議等の名称	参加職員の範囲	実施状況	記録の有無	会議等の主な内容
職員会議	全職員	月1回	有	各事業からの連絡事項、問題提議、業務内容についての提案、当月の予定確認、研修報告、所長訓示
処遇、業務報告ミーティング	全職員	毎日終礼時	有	利用者に関する日常の問題点、注意事項について検討
ケース検討会議	管理者・生活支援員	随時	有	利用者個々の処遇内容やニーズを検討し、個別支援計画に活かしていく
生産活動等 内容検討会	全職員	随時	有	工賃の向上をめざし、生産活動の内容や能率を検討

(8) 利用者自治会・家族会(保護者会)等の状況

名称	会員数	規約の有・無	会費徴収の有・無 (1人月額又は年額)	経理事務担当者名
家族会	18名	有	有 月額500円	宗宮 勝

(9) 施設職員の研修状況等(平成28年度)

1) 研修等の状況

研修会名	開催場所	参加職種	参加者	研修日数	研修内容
岐阜県知的障害者支援協会 第1回施設長会	恵那峡グランドホテル	管理者	高橋義和	半日	法人運営、総会
岐阜県知的障害者支援協会 総会	郡上市日本まん真ん中センター	管理者	高橋義和	1日	平成27年度事業報告案、決算報告案審議、その他
生涯研修課程初任者コース	美濃加茂市文化会館	生活支援員	西川 潤	4日	福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理(初任者コース)
中堅職員キャリアパス研修	大垣市ソフピアジャパン	生活支援員	村瀬 洋子	2日	福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理(中堅職員コース)
岐阜県知的障害者支援協会 日中支援部会	ひまわりの丘 第二学園	業務主任	安田 好秀	1日	より良い日中活動を通して～意思決定支援への取り組み～
岐阜県知的障害者支援協会 施設長会	岐阜県福祉農業会館	管理者	高橋義和	1日	障がい者施設における緊急防犯対策会議
揖斐特別支援学校地域支援研修会	揖斐特別支援学校	業務主任 職業指導員	安田好秀 林 裕美	半日	発達障害の子どもの理解と支援～レジリエンスを育む視点から～
指定障害者福祉サービス事業者等分野別集団指導	岐阜清流文化プラザ長良川ホール	業務主任	安田 好秀	1日	指定就労継続支援A型、B型事業所運営に係る注意点等について
岐阜県知的障害者支援協会 日中活動支援部会	第一陶技学園	生活支援員	安田好秀	1日	より良い日中活動を通して～障がいの重い方への日中活動のあり方～
岐阜県知的障害者支援協会 支援主任者会	岐阜県福祉農業会館	生活支援員	安田 好秀	半日	人材確保・人材育成
岐阜県知的障害者支援協会 日中活動支援部会	各務原市福祉の里	生活支援員	安田 好秀	半日	療育手帳による支援制度
岐阜県知的障害者支援協会 日中活動支援部会	武芸川生涯学習センター	業務主任	安田 好秀	半日	自閉症・発達障がいのある方への支援
岐阜県知的障害者支援協会 50周年記念式典	岐阜清流文化プラザ長良川ホール	管理者	高橋義和	半日	創立50周年記念式典 一感謝状贈呈、活動発表一
指定障害者福祉サービス事業者等集団指導	羽島市文化センター	生活支援員	安田好秀	1日	指定障害福祉サービス等に係る注意点等、他研修

